

「エンテロウイルス (属ウイルス) 感染症」について

エンテロウイルス属は、ピコルナウイルス科 (*) のなかでライノウイルス属などの5種類の属のなかの一つで、腸管内で増殖するウイルスの総称で、「エンテロ」はギリシャ語で「腸」を意味します。

ヒトに感染症を起こすエンテロウイルス (属) は64種類以上あり、ポリオウイルスが3種類、コクサッキーウイルスA群が23種類、B群が6種類、エコーウイルスが28種類、エンテロウイルスが4種類含まれています。

エンテロウイルス属のウイルスは、互いに性質がよく似ていて、ウイルス1種類に疾患が1つという対応をしていないのが特徴です。

例えば、「手足口病」はコクサッキーウイルスA群16型で発症しますが、エンテロウイルス71型でも発症します。(図右上)

*:ピコルナウイルス (Picornavirus) は、小さな (ピコ: pico [スペイン語])、遺伝子が RNA (ルナ: ma) であることが、名称の由来とされています。
ピコルナウイルス (Picornavirus) は、英語で Polio (ポリオ)、Insensitive to ether (エーテルで消毒できない)、Coxsackie (コクサッキー)、Orphan (関わりのある病気がない、つまり身寄りのない孤児のような)、Rhino (ライノ)、RNA genome (RNA遺伝子) -viruses (ーウイルス) の頭文字ともされます。

| | ウイルス名 | 血清型 | 主な症状 |
|------------------------|-----------------------------|----------------------------------|--|
| エンテロウイルス属 | ポリオウイルス (poliovirus) | 1~3型 | ●急性灰白髄炎 |
| | コクサッキーウイルス (coxsackievirus) | A群 (1~24型) ※欠番: 23型 | ●手足口病 (10型, 16型) ●ヘルパンギーナ ●かぜ症候群 ●無菌性髄膜炎 ●急性出血性結膜炎 |
| | | B群 (1~6型) | ●流行性筋痛症 ●心筋炎・心膜炎 |
| | エコーウイルス (echovirus) | 1~33型 ※欠番: 8, 10, 22, 23, 28型 | ●無菌性髄膜炎 ●かぜ症候群 |
| エンテロウイルス (enterovirus) | 68~71型 | ●急性出血性結膜炎 (70型) ●手足口病 (71型) | |



手足口病

夏季に乳幼児に流行し、口腔内、手掌、足底に水疱疹をきたす感染症です (図右)。コクサッキーウイルスA群 (10型・16型)、エンテロウイルス71型が主な原因ウイルスです。

主に4歳以下の乳幼児に好発 (発症は1歳が最多) し、発熱するのは全体の30%程度であり、発熱しない場合の方が多いためです。咽頭や便から排出されるウイルスが感染源となります。また、無菌性髄膜炎を合併することがあります。





ヘルパンギーナ

夏季に乳幼児に流行し、口腔粘膜にのみ水疱疹 (および口内炎) をきたす感染症です (図右)。コクサッキーウイルスA群の他、コクサッキーウイルスB群とエコーウイルスが原因ウイルスです。

主に4歳以下の乳幼児に好発 (発症は1歳以下が最多)。解熱して7日程で治癒しますが、脱水症に注意が必要です。原則的に治療は不要で、予後は良好ですが、髄膜炎、熱性けいれんに注意が必要です。



| 疾患 | 手足口病 | ヘルパンギーナ |
|--------|---|---|
| 症状 |  <ul style="list-style-type: none"> ●口腔内前方に水疱疹がみられ、手や足にも水疱疹がみられる。 |  <ul style="list-style-type: none"> ●軟口蓋、口蓋垂、咽頭など、手足口病よりも口の奥に水疱疹ができる。 |
| 原因ウイルス | コクサッキーウイルスA10, A16 エンテロウイルス71など | コクサッキーウイルスA群 |
| 好発年齢 | 乳幼児 (特に1~4歳) | 乳幼児 (特に1~4歳) |
| 発熱 | ときにみられる | 39℃以上 |
| 水疱 | 口腔内、ついで手掌、足底 | 軟口蓋、扁桃 |

図左:

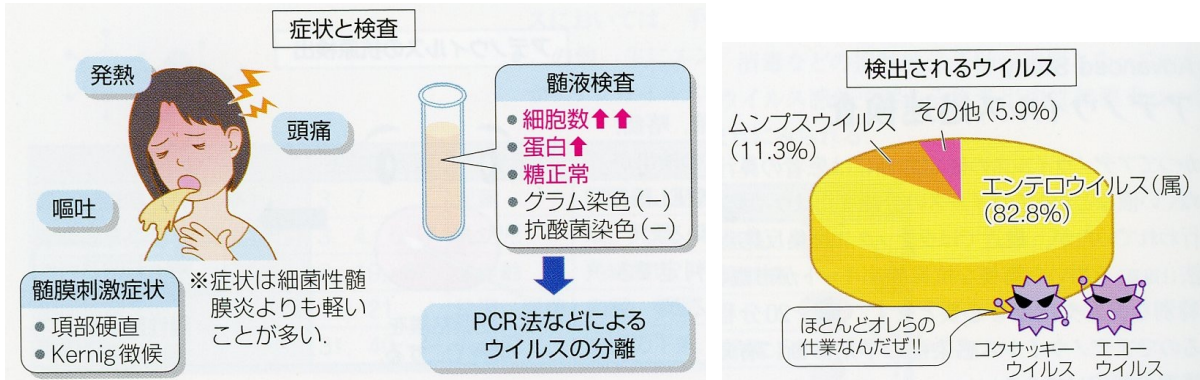
「手足口病」と「ヘルパンギーナ」は、どちらも乳幼児に好発し、臨床症状は似ています。「ヘルパンギーナ」では、初発時に高熱がみられることが一般的ですが、「手足口病」では発熱は見られる程度です。

また、発疹の生じやすい部位に違いがあります。

無菌性髄膜炎

の起炎ウイルスは、エンテロウイルスが最多で、全体の8割以上をしめま

す。(図右下)
髄膜炎の症状(下記)のある患者から採取した髄液から培養しても細菌が検出されず、起炎菌が明らかにならないものを指します。多くはウイルス性髄膜炎と同義に使われます。



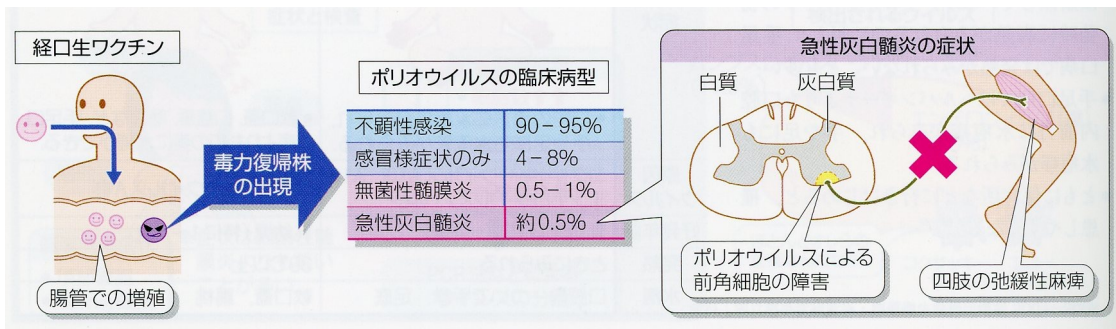
その他のエンテロウイルス(属)感染症:

急性灰白髄炎 (poliomyelitis)、いわゆる「ポリオ (Polio)」

エンテロウイルス属のポリオウイルスによる感染症です。脊髄の前角細胞(運動神経)が障害され、多くは片側性の弛緩性麻痺が起こります。

現在、我が国を含めほとんどの先進国では野生株による患者の発生はありません。経口ワクチンによる弱毒ウイルスが突然変異により毒力を復帰することにより発生する可能性はありました。

(図下)しかし、平成24年からは注射の不活化ポリオワクチン接種に変更されています。



エンテロウイルスD68 (EV-D68) 感染症について:

エンテロウイルスD68型 (EV-D68) (*)は、米国において1962年に下気道感染症の小児から分離されたウイルスであり、近年まで比較的稀な呼吸器感染症の原因ウイルスと考えられてきました。わが国での報告は少なかったのですが、最近の報告件数が年間で100例を超えることもあります。

EV-D68に感染し発症した場合、発熱や鼻汁、咳といった軽度なことから喘息様発作、呼吸困難等の重度の症状を伴う肺炎を含む様々な呼吸器疾患を呈します。なお、弛緩性麻痺を発症した患者の上気道からEV-D68が検出された事例が欧米や日本などから報告されており、弛緩性麻痺患者の一部におけるEV-D68感染との関連が疑われています。

*:新しい人のエンテロウイルスについては、エンテロウイルス属はさらに分子系統解析によりエンテロウイルスA~J群に分類され数字の型を後につけ、例えば、今回のウイルスはエンテロウイルスDに属し「エンテロウイルスD68」(EV-D68)のように表記されます。

図は、「病気がみえる vol.6 免疫・膠原病・感染症」<MEDIC MEDIA>、「みやけ内科・循環器科」・「地方独立行政法人 大阪健康安全基盤研究所」ホームページから引用しました。

この「診療所だより」や診療についての御意見・御要望などをお気軽にお寄せ下さい。
これからの参考にさせていただきます。

編集・発行: 勝山諄亮

勝山診療所

〒639-2216 奈良県御所市343番地の4 (御国通り2丁目)
電話: 0745-65-2631